

## 「代満（しろみて）」で交流を

く原く

「原交流館」で6月10日（日）、集落の田植えが無事終わったことを祝う『代満』が行われました。

原交流館は、ものづくりや伝統技術の継承を目的に建設されました。この施設は、大山町地域活性化支援事業交付金を活用し、今年1月に完成しました。



▲新しく建てられた原交流館



▲おいしい料理に会話も弾みます

ブルには、手作り豆腐・手打ちそば・炊き込みご飯のほか、集落の人が自家製の窯で焼いたというピザも並び、たいへん豪華な様子でした。水田農家だけでなく、幼児から高齢者まで集落の幅広い世代が30人ほど集まり、みんなでにぎやかに代満を祝いました。

区長の山口修二さんは「近年は専業農家が減って、皆さんがさまざまな仕事をしている。同じ集落でも顔を合わせる機会が少なくなり、今回のような『代満』をきっかけにした交流会を大事にしたい」と集落のにぎやかな様子に満足そうでした。

## バラで家族の絆を深めて

父の日にバラを贈ることを習慣にしておうと、米子地区花き生産者協議会バラ部会がバラ生産者が住む市町村にバラの花を贈っています。

6月13日（水）、今年も生産者を代表して、部会長の大原広巳さん（所子）から、森田増範町長にバラの花束と花かが贈られました。

大原さんは「手間をかけたほどはいいものができるので、バラ作りはやりがいがあります。母の日には、カーネーション、父の日にはバラと覚えてもらえたらうれしい」と話されました。



▲バラを手渡す大原さん（右）

## 海岸の森林を守ろう

6月16日（土）、御来屋海岸の魚つき保安林の草刈作業が行われました。

御来屋海岸魚つき保安林は、平成22年に「大山の恵みを育てる会」が、海の環境を整え魚の育成を促そうと黒松の苗木を植栽したものです。

作業当日は、鳥取県漁業協同組合御来屋支所の組合員が中心となり、52人のボランティアの皆さんが協力して保安林の草刈作業に汗を流しました。



▲魚つき保安林草刈作業

## 新しい鳥居が完成!

く樋口く

このほど、樋口荒神社の鳥居、参道、石灯笼などが新しく建て替えられ、集落の皆さんが完成を祝いました。

記念の石碑には森田尾山さんの「至誠通天」の書が刻まれていました。皆さんの喜びがあふれているようです。



▲石作りの立派な鳥居です

